



岐阜県議会議員 国枝慎太郎県政ニュース

令和4年第1回岐阜県議会定例会が開会されました。今議会においては令和3年度補正予算約311億円をはじめ、過去最大規模となる令和4年度一般会計予算約8,869億円などが審議されております。令和4年度予算におけるコロナ対応予算は、令和3年度補正予算と令和4年度当初予算を合わせて約671億円（ウイズコロナ予算513億円、アフターコロナ予算157億円）が盛り込まれました。

あらためて、私たちの生命と暮らしを守るために、ご尽力いただいている全ての皆さまに感謝を申し上げます。

岐阜県議会議員 国枝慎太郎



地域医療を守る

人口が減少する揖斐郡においても、持続可能な「地域医療」を構築することは重要な課題であります。そのような中、現在大野町において令和5年10月の開院を目指しJA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院の建設が進められております。地域医療については youtube 動画にて説明させていただいておりますので、是非ご視聴ください。

<https://youtu.be/VG9b6-074NU>

※今議会において、地域医療構想に向けた「医療機関の再編統合に関わる整備に要する経費支援」として事業費20億円が審議されています。



新病院：JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院

病床数 400床
急性期 293床
回復期 82床
緩和ケア 25床（西濃医療圏初）
標榜診療科目 28診療科
医師数 50名+α（開院予定時）

令和3年11月 工事着手
令和5年8月 竣工（予定）
令和5年10月新病院開院（予定）



移転後の揖斐厚生病院の施設利用や 地域医療の確保について

令和3年10月26日 揖斐川町・公益社団法人地域医療振興協会・岐阜県厚生農業協同組合連合会の3者において、揖斐厚生病院の施設利用及び地域医療確保に関する覚書が取り交わされました。

覚書の概要

- 揖斐川町の地域住民に必要な外来診療機能及び介護等の確保や地域の活性化に資する施設として、後利用について十分協議すること。
- 揖斐厚生病院の移転後に地域住民が揖斐川町において医療を受けられる体制を整え、対応に努めるものとする。
- 医師等の人事交流を通じ、教育・研修体制を構築し地域医療に貢献する人材育成に努めること。
- 移転後における地域医療を確保するため、医師等の派遣に対し、誠意をもって対応すること。



池田町の安心・安全にむけて県に要望

(主な今後の継続事業：道路)

●国道417号沿いでは (道路維持課)

本郷地内 安全の確保対策としての歩道整備
R3年 L=200m 用地測量
片山地内 安全の確保対策として歩道整備
R3年 用地補償並びに工事

●一般県道藤橋池田線では (道路建設課)

池田町と揖斐川町をつなぐ 粕川橋梁 R3年概略設計
沓井地内 交差点整備 R3年 交差点詳細設計

●一般県道宮地片山線では (道路建設課)

小牛地内 道路改良 R3年 用地測量

(主な河川事業)

R3年には杭瀬川(片山地内～市橋地内)、中川(八幡地内)における樹木伐採や河道掘削工事が進められました。また東川ほたる祭りが開催される東川においても河道掘削工事が進められました。今後も住民の皆さまの声を聞きつつ継続事業として要望させていただきます。

(主な今後の継続事業：砂防)

※砂防事業とは、土石流、地すべり及びがけ崩れに対しての土砂災害対策をいいます。

●通常砂防事業

藤代地内 地獄谷 R3年 堰堤工設計・地質調査(砂防課)
片山地内 井振谷 R3年 堰堤工 R3年12月補正 溪流保全工・除石工(砂防課)



中川土砂浚渫工事



井振谷堰堤工事

揖斐土木事務所所管

農林事務所所管分については令和4年度に向けて、林道池田～明神線の改築事業をはじめ、以下の事業等の推進に向けて要望させていただきます。

●予防治山事業・・・藤代地内<南谷>

○事業目的：谷止工、流路工を設置し、森林の水源かん養機能の強化、山崩れや不安定土砂の移動を防ぎ山地災害を防止する。

●流域保全総合治山事業・・・片山地内<井振谷>

○事業目的：治山施設と森林整備(事前防災モデル地区整備プロジェクト)を組み合わせた山地防災力の強化を図る。

●県単治山事業・・・片山地内<善南寺山>

○事業目的：既設谷止工袖部に発生した崩壊法面の復旧と堆積土砂の排土により治山施設の機能回復(確保)を図る。



予防治山事業 南谷地区



流域保全総合治山事業 井振谷地区



県単治山事業 善南寺山地区

揖斐農林事務所所管

柿産地としての維持発展にむけて大野果実共同選果場改修工事が完了します (国・県による補助事業)

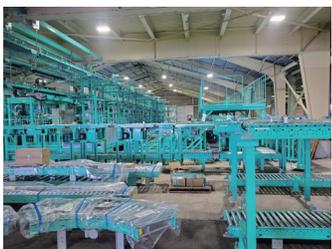
①現状 県内におけるかき生産の推移 (出展：JA全農)

	H28	H29	H30	R1	R2
生産者数	1,822人	1,775人	1,710人	1,702人	1,666人
栽培面積	539.4ha	522.8ha	514.4ha	493.8ha	482.5ha
出荷量	4,349.0t	3,855.1t	3,220.9t	3,385.8t	2,406.6t

②事業目的 「大野の柿」ブランドの市場評価を高めると同時に生産者の所得増大につなげる。

③大野果実共同選果場の主な機能強化内容

- 箱詰め作業を作業員による手詰め作業から自動箱詰め機に変更
- 非破壊検査センサーの導入により非破壊で糖度や渋果の判断が可能
- 出荷箱へのユニークコード印字により選果日や出荷者等の情報が追跡可能



※改修工事中のいび川農業協同組合 大野果実共同選果場

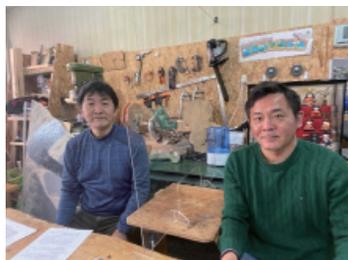
移住者の声 移住・定住の促進について

岐阜県においては 移住支援・就業支援・住宅支援を柱に移住・定住支援策を展開しています。岐阜県の発表では R2 年県外から岐阜県への移住者数は 1,752 人と過去最高の移住者数となりましたが、私たちが住む揖斐郡においては、R2 年揖斐川町 2 人、大野町 4 人、池田町 0 人(岐阜県発表)でした。そこで 1 2 年前に名古屋市内から揖斐川町三輪地内に移住された柴田哲也さんと対談させていただき、今後の移住政策について

伺いました。その対談について youtube にて動画配信させていただきましたので是非ご視聴ください。

youtube 動画リンク
<https://youtu.be/Xt9nrNY76Qg>

check



住民の声 危うく落石事故に巻き込まれる寸前だった。

揖斐川町久瀬地内における町道下山線(乙原地内～東津汲との区境)は国道 303 号線に接道する東津汲住民の皆さまにとっても重要な生活道路であります。しかしながら写真にあるように頻りに落石があり住民の皆さまからは不安な声をいただいております。対岸には県道山東北線もありますが、この道路も落



石多発地帯であり、現在岐阜県において対策が進められております。

そこで今後、道路管理者である揖斐川町と岐阜県が連携し、落石対策に取り組むよう要望させていただきました。

やま(い)